

《前口上・・・という名の注意書き》

自転車ロードレース中継を初めて観た時、その景色の美しさと統制の取れた選手達の走る姿の格好良さを感じたのですが、一方で『モニュメントと呼ばれるクラシック』『トレインを形成する』『グルペット』など耳慣れない言葉に違和感を感じたりもしました。勿論、どんなスポーツでも専門用語はありますが、自転車ロードレースでは英語よりフランス語やイタリア語が主に使われ、また同じものを指している場合でも名前が違うという事も多々あります。

例えば、世界選手権で優勝した選手が着る上着。フランス語の通称でアルカンシェルと言いますが、英語圏ではレインボー・ジャージと呼びます。なぜ英語ではなくフランス語が通称として使われるのか？そして総合優勝者の着る上着はツール・ド・フランスが黄色、ジロ・デ・イタリアが薔薇色、ブエルタ・ア・エスパーニャが赤色・・・なぜこの色になったのか？疑問は尽きないと思います。

そこで、自転車ロードレースで使われる言葉と、日本の某巨大掲示板で使われる隠語・通称をアンブローズ・ビアズ著『悪魔の辞典』風に纏めた用語集を作ってみました。英語で辞書を意味するサイクロペディアをもじったのサイクル・ペディア、内容は極力親しみやすく作ったつもりです。

・・・えっ？ 剛腕さんって誰？ ちゃんと人名も載せるの？
慌てない慌てない。別途「人名編」で一挙公開予定ですヨ。

目次

前口上	1
用語集	3
後口上	55

(表記について)

言葉の並びはアルファベットと数字が最初で、以下あいうえお順とします。「ヴ」で始まる言葉やファミリーネームは「ウ」の項に含めました。

発音や語源については可能な限り調べてありますが、明確に「これが正しい」というわけではない事をご了承下さい。

表紙イラスト

たこみや(サークル ナノハチ)

《アルファベット・数字》

ABANDON (アバンドン)

1 * フランス語で「放棄する」の意味。選手がレース途中で棄権する事。

2 * 英語圏では『DNF (Did Not Finish)』。

ASO (アーエスオー)

- 1 * 正式名称は 'Amaury Sport Organisation'、アモリ・スポル・オルガニザシオン。フランスのスポーツ・メディアグループで、現在ツール・ド・フランスやダカールラリー、ゴルフのフランスオープンを主催している。
- 2 * 元々はフランスの新聞社レキップが主催していたが、その権利を譲渡する為にASOが設立された。その為ツールは自分達のものだという意識が強く、UCIとは運営や参加チームの選定方法で対立、2008年にはASO主催レースのパリ〜ニースに出場したチームに対してUCIが何らかの処罰を課す事を検討する、という話にも発展した。
- 3 * 現在は和解したものの、いわゆるワールドカード枠で出場するチームが全てフランスに本拠地を置くチームだったり、主催者としてのエゴをむき出しにする事も多い。

AG2R La Mondiale

(アージエードウーゼル・ラ・モンディアル)

1 * フランスに本拠地を置くプロチーム。これは略称で、正式には Association Generale de Retraite par Repartition、AGRRからAG2R。定年退職者に対する分配の互助組織、とても訳すべきか。名前の通り、企業向け保険や年金の管理運用を行う共済組合なのだ。La Mondialeとはフランス語で「世界の」という意味。

2 * 1992年にチームが設立されたが、2011年現在でもツールやジロではステージ優勝者のみで、総合優勝した所属選手は居ない。

3 * 近年は色が黒に近い茶色のパンツを使っていて、J-Sportsの中継で栗村修が「どっかの高校のチームジャージみたいだ」と評し話題になった。確かにダサイ色だ。(マテ

BOXブイグテレコム

1 * フランスに本拠地を置くプロコンチネンタルチーム。1984年に設立されたシステムU、後のヴァンデUを母体とし、何度かのスポンサー変更の後2005年から携帯電話会社のブイグテレコムがメインスポンサーとなった。その後、同社のインターネット事業ブランド名BOXをチーム名に付加。